

# 環境クリーン部長目標

環境クリーン部長 並木 和人(なみき かずと)



当部の仕事を通して貢献しているSDGsの主なゴール



## 環境クリーン部の仕事

環境クリーン部は、マチごとエコタウン推進課(ゼロカーボンシティ推進室)、環境対策課、生活環境課、みどり自然課、資源循環推進課(一般廃棄物最終処分場整備室)、東西クリーンセンター及び収集管理事務所の8課2室で構成され、地球温暖化対策、生活環境の向上、みどりの保全・創出、公害対策等の環境施策と廃棄物処理施策の推進を主な仕事としています。

## 環境クリーン部の令和3年度の目標

環境クリーン部は、「所沢市マチごとエコタウン推進計画」に掲げる将来像「“人と人”人と自然」との絆で、子どもたちの未来を紡ぐ「エコタウン所沢」の実現を目指し、各種施策を実施します。

具体的には、

- ・再生可能エネルギーや省エネルギーの推進
- ・人と自然の共生に向けた、みどりの保全・創出
- ・循環型社会の形成に向けた、ごみの減量・資源化
- ・健康で安心して暮らせる環境づくり
- ・市民や事業者とともに実践する環境づくり

に取り組み、所沢市を持続可能なまちにしていきます。

また、地球環境の改善のため、2050年までに市域の二酸化炭素排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現を目指します。

## 目標達成に向けた重点事業

	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	マチごと脱炭素社会の推進	地域から地球環境を支え、次世代への影響を最小限にとどめるため、家庭やオフィス等の身の回りの活動からCO2を削減する取り組みを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や事業者等の創エネ・省エネ機器等の導入や住宅性能の向上に対する支援を行います。</li> <li>・市の事務事業から排出されるCO2を削減することにより、ゼロカーボンシティの実現に向けた市の率先行動を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートハウス化推進補助金において、家庭用:1,050件、56,872千円</li> <li>事業者用:11件、5,751千円</li> <li>自治会用:1件、158千円を交付し、合計で431tのCO2削減を図りました。</li> <li>・安松保育園に9.5kWの太陽光発電設備を導入し、年間5.5tのCO2削減を図りました。</li> </ul>

2	人と自然の共生に向けた、みどりの保全・創出	本市の豊かで、多様な野生生物を育むみどりを計画的に保全する取り組みを推進します。また、緑地保全制度の指定による市街地のみどりの保全や公共公益施設の緑化、市民協働による緑化活動の推進によりまちなかのみどりの創出を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に残された貴重なみどりを未来の子どもたちに継承するため、消失するおそれがある緑地等の取得及び保全管理を行います。</li> <li>・市街化区域内の樹林地や、みどりの基本計画に定める「緑化重点地区」内の低未利用地を市民の憩いの場として整備します。また、公共施設の緑化などによりまちなかのみどりを創出します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北野南、荒幡、山口、上山口地内計10筆(市購入8筆:5,177㎡、県購入2筆:2,901㎡)の樹林地を取得しました。</li> <li>・小手指台まちなかみどり保全地区(1,825㎡)について指定しました。</li> <li>・西住吉みどりのエコスポット(約225㎡)を整備し公開しました。</li> </ul>
3	循環型社会の形成に向けた、ごみの減量・資源化	大量生産・大量消費・大量廃棄の社会を見直し、3R『ごみの発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)』に基づいた循環型社会の形成を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物減量等推進審議会での審議等を通じて、ごみ減量方策の一つであるごみ有料化の課題や効果を検証し、導入に係る調査・検討を進めます。</li> <li>・様々な啓発活動を通じて、ごみ減量・リユース・資源化を推進します。</li> <li>・所沢市第2一般廃棄物最終処分場の建設に向け、設計・建設を一括で行う事業者の選定を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物減量等推進審議会を6回開催し、令和4年3月の答申では一般廃棄物処理基本計画の改訂におけるごみ減量方策の留意事項について、ご意見をいただきました。</li> <li>・【暫定値】総ごみ量:98,309t、焼却量:78,569t、リサイクル率:30.7%、集団資源回収量:9,807t、生ごみ処理機器等の奨励金交付数:211基</li> <li>・所沢市第2一般廃棄物最終処分場について、戸田建設株式会社関東支店と工事請負契約を締結しました。</li> <li>建設用地取得:累積44筆、56,641.85㎡、取得率97.4%(令和4年4月6日付契約で100%取得)</li> </ul>
4	市民や事業者とともに実践する環境づくり	市民・事業者・市が協働して環境保全に取り組んでいくために、各主体の取り組みを支援し、学校や社会における環境教育・環境学習の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境推進員と市が連携して、地域での環境美化・保全活動を推進します。</li> <li>・環境保全活動を行う各主体の意欲の向上、活動の活発化を図れるよう取り組みの紹介、イベントの開催等を実施します。</li> <li>・プラスチックごみ削減や再エネ、省エネ利用の推進等に関する出前講座を実施します。</li> <li>・地球温暖化対策を自分事として意識してもらうことを目的とした、市民・事業者との協働取組を推進します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境推進員と連携して「環境美化の日」を年2回実施し、春14,147人、秋15,947人が参加しました。</li> <li>・再エネ・省エネ利用の推進について、小中学校を中心に前講座を7回実施しました。また、プラスチックごみの問題について、松井まちづくりセンターほか2か所で出前講座を開催し約200名が参加しました。</li> <li>・市域の脱炭素化に向け主体的な環境行動がとれる人材を育成する「マチエコリーダー養成講座」について、事業者や高校生を含めた20名が参加し、step1を修了しました。</li> </ul>